

みんなの声と参加がまちをつくる！

大野ひろ子



市民ネットワーク鶴ヶ島は、生活者の声を議会に届ける役わりとして議員を議会に送り出しています。

放射線量の測定や車椅子でのタウンウォッチング、学校給食センターの見学会。また、まちづくり市民講座を活用しての学習会や先進地視察研修、まちづくりワークショップなどの学習活動を行い、市政に提案(一般質問)しています。

大切な緑を守りたい、子どもたちを安心して育てたい、高齢になっても住みなれたまちで暮らしたい。みんなのつぶやきを集めて市政に提案し、解決につなげています。

《市民ネットワーク鶴ヶ島は、大野ひろ子(市議)と一緒に、みんなの声を市政に届けます》

希望を持って暮らせるまち

誰もが自分らしく暮らせる鶴ヶ島

- ワークライフバランスを推進し、夢のある子育てを支援
 - ・子どもが自由に遊べるプレーパークの常設化
 - ・安全安心な学校給食の推進
 - ・待機児童のいない保育の体制づくり
 - ・子どもたちの放課後の居場所づくり
- 住みなれた地域で暮らし続けるために
 - ・在宅医療、看護、介護の連携を推進し、地域包括ケアシステムを充実
- 障がいがあっても地域で暮らしていく
 - ・共に育ちあう教育環境づくりを進め、障がい者雇用、就労体験制度を推進

人と人をつなぐコミュニティ

お互い様の関係で、災害に強い鶴ヶ島

- ボランティアや地域活動など、いきいきと活動する場を創出
- NPO、コミュニティビジネスを推進し、多様な世代のつながりの場を創出

未来につなぐ環境

自然との共生をめざし、次世代へ豊かな環境をつなぐ鶴ヶ島

- 原発に頼らない再生可能エネルギーを推進し、放射能から子どもを守る
- ごみ減量、資源化への積極的な取り組み
- 農と自然を通じてのコミュニティづくり

市民主体の市政、財政

市政に市民の意見が反映する鶴ヶ島

- 市民に開かれた議会
 - ・議会改革の推進
 - ・親しみやすい議会だよりの作成
- 透明な市政、財政を
 - ・市民意見を反映し、次世代に負担を順送りしない財政運営を提案
- パブリックコメント、意見交換会などを生かして、市民と行政のパートナーシップを推進

*ネットの3つのルール
1. 議員はローテーションで交代

2. 議員報酬は市民の政治活動に

3. 選挙はカンパとボランティアで